

令和 2 年度第 3 回臨時課題評価の考え方について

令和 2 年 1 1 月 1 2 日
ガバニングボード決定

1. 第 3 回臨時課題評価WGの実施について

「令和 2 年度 S I P 第 2 期臨時課題評価結果への対応について」(令和 2 年 8 月 2 0 日のガバニングボード決定)において、令和 2 年度 8 月配分時点で未配分の予算は、本年 9 月(予定)に臨時課題評価WGを開催し、追加配分することが適当であるか否かの審査を行い、最終的にガバニングボードにて追加配分の適否及び金額について決定することとなっていた。

これに基づき、1 0 月 1 9 日に臨時課題評価WG第 3 回を開催し、追加配分することが適当であるか否かの審査を行った。

2. 追加配分の審査の考え方について

令和 2 年度 8 月配分後の時点で未配分の予算について、当初計画の加速や現況を踏まえ機動的に対応すべき施策に絞って追加配分の施策候補とすることとして、追加配分することが適当であるか否かについて審査を行った。

臨時課題評価WGにおいては、課題との整合性が図られているか、課題の加速・拡大に資するか、緊要性があるかの観点で審査を行い、採択の可否について判定を行った。

最終的に、採択の可否の判定において、「A+」、「A」、「B+」判定の得票率の合計が「C」判定の得票率を上回る場合に「採用」することとする。

また、「採用」することとなった案件について、採択の可否の判定における最多得票率となる判定結果を比較し、追加配分案件の優先順位を定める。その際、最多得票率となる判定結果が同一となる課題があった場合、それら課題の 2 番目の得票率の判定同士を比較し、より上位の判定結果の得票率が多かった課題の順位を高いものとする。順位判定後、留保している予算の総額と追加配分案件ごとの要望額を確認し、それぞれの追加配分案件に対する配分額をガバニングボードにおいて決定する。

表 1 : 臨時課題評価WGにおける追加配分審査の視点

採否判定	判定結果	
採択の可否	A+	最も優先的に追加配分すべきである
	A	優先的に追加配分すべきである
	B+	追加配分すべきである

	B	追加配分することを妨げない
	C	追加配分すべきではない
審査の視点	評価基準	
1. 課題との整合性	十分整合している	
	概ね整合している	
	整合していない	
2. 研究開発の加速・拡大	非常に期待できる	
	期待できる	
	期待できない	
3. 緊要性	緊要性が非常に高い	
	緊要性が高い	
	緊要性が低い	

3. 追加配分の採点結果

第2回臨時課題評価WGにおける追加配分施策の採点結果は次の通り決定する。

表2：追加配分案件の採否判定の結果

課題名	案件名	採択の可否判定における 各判定結果の得票率					採否の 判定	優先 順位
		A+	A	B+	B	C		
フィジカル空間デジタルデータ処理基盤	ニューノーマル時代の新たなバリューチェーンの構築	0.0%	0.0%	18.2%	54.6%	27.3%	不採用	-
統合型材料開発システムによるマテリアル革命	MI システムの構築によるCFRP 材料創製の高速化と出口の多様化	0.0%	30.0%	30.0%	40.0%	0.0%	採用	3
光・量子を活用した Society 5.0 実現化技術	社会実装の加速度的波及の先行検証	0.0%	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	採用	4

スマートバイオ産業・農業 基盤技術	組織培養が不要な革新的 ゲノム編集植物作出技術 の確立	10.0%	30.0%	50.0%	0.0%	10.0%	採用	2
スマート物流 サービス	物流・商流データ基盤へ のビッグデータ活用機能	0.0%	0.0%	20.0%	50.0%	30.0%	不採用	-
革新的深海資 源調査技術	・揚泥管閉鎖・密閉機構に 係る試験機の製作と性能 試験 ・レアアース泥回収シス テム採泥用給電・通信ケ ーブルの設計及び要素試 験	36.4%	54.6%	9.1%	0.0%	0.0%	採用	1

以 上